

第2回柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 日 時

平成28年4月26日（火）10:00～11:20

2. 場 所

新潟県庁

3. 出席者

国 : 内閣府、原子力規制庁、海上保安庁、経済産業省

関係自治体等 : 新潟県、新潟県警察本部、柏崎市、刈羽村、長岡市、小千谷市、十日町市、見附市、燕市、上越市、出雲崎町、東京電力ホールディングス株式会社

4. 議 題

- (1) 「原子力災害対策充実に向けた考え方」について報告
- (2) 新潟県からの報告
- (3) 市町村からの報告
- (4) 「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る事業者の取り組みについて
(原子力事業者からの報告)
- (5) 作業部会において今後取り組んでいく事項について

5. 概 要

(冒頭カメラ撮りあり)

(0) 挨拶 (内閣府参事官から冒頭の挨拶があった)

(1) 「原子力災害対策充実に向けた考え方」について報告

内閣府から、「原子力関係閣僚会議決定」及び4月25日に開催された「原子力災害対策関係府省庁会議」の状況について説明し、今後府省庁会議において取りまとめを行う予定である旨報告。

(2) 新潟県からの報告について

新潟県から、実効性ある防護対策に向け必要な検討事項等について説明するとともに、原子力関係閣僚会議で決定した方針を受け、民間事業者との避難対策に向けた取組みや拡散予測の活用方法等について、国、関係市町村とも協議・検討等していきたい旨の発言。

(3) 市町村からの報告について

PAZ・UPZの9市町村から、市町村ごとの避難計画の策定状況及び住民への周知方法等について説明。

(4) 「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る事業者の取り組みについて

東京電力ホールディングス株式会社から、「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る取組について説明。

(5) 作業部会において今後取り組んでいく事項について

内閣府から、本作業部会において今後取り組んでいく事項を説明し、認識共有を図った。

(6) その他

今後の検討方針について

- ・新潟県から、法改正等での対応が困難な点については、ボリュームによる対応等も考えていく必要がある旨発言。
- ・長岡市から、関係市町村での検討状況も今後作業部会で素材として提供していきたい旨の発言。

今後のスケジュールについて

- ・内閣府から、作業部会の開催目安を1か月に1回程度としていきたい旨報告。

以 上